

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第100期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	日華化学株式会社
【英訳名】	NICCA CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江守 康昌
【本店の所在の場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部門長 林 幸照
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部門長 林 幸照
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第99期 第1四半期 連結累計期間	第100期 第1四半期 連結累計期間	第99期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	7,949,192	13,775,917	31,651,387
経常利益(千円)	337,509	1,405,404	1,797,839
四半期(当期)純利益(千円)	203,883	934,041	1,260,925
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	915,888	2,292,981	2,743,657
純資産額(千円)	12,364,128	16,100,121	13,982,073
総資産額(千円)	36,621,376	39,769,512	37,095,928
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	11.58	53.08	71.65
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	28.8	35.0	32.7

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。)は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当連結会計年度より、連結決算日を3月31日から12月31日に変更しております。この変更に伴い、第100期第1四半期連結累計期間については、当社及び3月決算であった連結対象会社は平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3ヶ月間、12月決算の連結対象会社は平成25年1月1日から平成25年6月30日までの6ヶ月間を連結する変則的な決算となっております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約】

（事業譲渡契約及び製品受託に係る基本契約）

当社は平成25年4月26日開催の取締役会において、当社グループ事業のうち、ダイカスト用油剤及び熱間鍛造潤滑剤（以下、「当該製品」）の製造・販売に関する事業を株式会社MORESCO（以下、「MORESCO」）へ譲渡すること及び当社グループが当該製品の主要原料をMORESCOに対し継続的に生産、供給することを決議し、平成25年5月1日に事業譲渡契約及び製造受託に係る基本契約を締結いたしました。

詳細につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（追加情報）」に記載のとおりであります。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間の連結業績は決算期変更により、当社及び3月決算であった連結子会社は4月から6月の3ヶ月間を、12月決算の連結子会社等は1月から6月の6ヶ月間を連結対象期間としております。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
平成25年12月期第1四半期連結累計期間	13,775	1,268	1,405	934
(参考)前年同一期間	11,176	591	596	392
調整後増減率	23.3%	114.4%	135.7%	138.0%
平成25年3月期第1四半期連結累計期間	7,949	374	337	203

「前年同一期間」の金額は、12月決算の連結子会社等の連結対象期間を6ヶ月（平成24年1月1日から平成24年6月30日）とした経営成績であり、「調整後増減率」はこれに対する当第1四半期連結累計期間の増減率を記載しております。

以下、増減については、「前年同一期間」との比較で記載しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）におけるわが国経済は、新政権下における金融緩和をはじめとした景気回復政策への期待感から景況感は回復しつつあるものの、欧州における財務問題の長期化や新興国経済の成長鈍化などの影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進した結果、売上高は137億7千5百万円（前年同一期間比23.3%増）、営業利益は12億6千8百万円（同114.4%増）、経常利益は14億5百万円（同135.7%増）、四半期純利益は9億3千4百万円（同138.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

	売上高			セグメント利益		
	第1四半期連結累計期間		調整後 増減率 (%)	第1四半期連結累計期間		調整後 増減率 (%)
	(参考) 前年同一期間 (百万円)	平成25年12月期 (百万円)		(参考) 前年同一期間 (百万円)	平成25年12月期 (百万円)	
化学品	9,188	11,634	26.6	387	995	157.2
化粧品	1,987	2,141	7.8	504	584	15.8
合計	11,176	13,775	23.3	891	1,580	77.2

化学品事業

売上高は116億3千4百万円（同26.6%増）、セグメント利益は9億9千5百万円（同157.2%増）となりました。

海外では、韓国や中国などの東南アジア地区において繊維加工薬剤が好調に推移し、売上高は大きく伸張しました。国内では、機能加工向けの繊維加工薬剤や新規分野向けのその他化学品が好調に推移し、売上高は増加しました。

化粧品事業

売上高は21億4千1百万円(同7.8%増)、セグメント利益は5億8千4百万円(同15.8%増)となりました。

美容業界においては顧客ニーズの分散が続く中、デミ コスメティクス「ピオーブ」、イーラル株式会社「イーラル コク」などを核とした当社ナショナルブランド展開に加え、サロンプライベートブランドの受託、山田製薬株式会社による相手先ブランド製造の受託など、多角化戦略が好調に推移し、売上高は増加しました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、6億1百万円であります。
なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,932,000
計	44,932,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,710,000	17,710,000	名古屋証券取引所市場第 二部	単元株式数 1,000株
計	17,710,000	17,710,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	17,710,000	-	2,898,545	-	3,039,735

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 112,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,479,000	17,479	-
単元未満株式	普通株式 119,000	-	-
発行済株式総数	17,710,000	-	-
総株主の議決権	-	17,479	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日華化学株式会社	福井市文京4丁目23番1号	112,000	-	112,000	0.63
計	-	112,000	-	112,000	0.63

(注) 当第1四半期会計期間末現在の自己株式数は、112,575株であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,781,311	3,912,757
受取手形及び売掛金	4 7,726,199	4 9,052,334
商品及び製品	2,794,958	2,703,363
仕掛品	595,878	595,639
原材料及び貯蔵品	2,573,518	2,781,502
その他	1,260,995	968,505
貸倒引当金	41,216	51,860
流動資産合計	17,691,645	19,962,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,796,996	7,129,191
機械装置及び運搬具(純額)	2,060,922	2,766,922
土地	6,274,720	6,431,487
その他(純額)	1,467,400	598,162
有形固定資産合計	16,600,039	16,925,764
無形固定資産		
のれん	359,630	341,269
その他	447,190	467,998
無形固定資産合計	806,820	809,267
投資その他の資産	1 1,997,421	1 2,072,238
固定資産合計	19,404,282	19,807,270
資産合計	37,095,928	39,769,512

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4 3,436,728	4 3,973,801
短期借入金	7,742,195	6,543,118
未払法人税等	479,518	243,653
賞与引当金	490,000	240,000
その他	2,048,254	3,811,500
流動負債合計	14,196,697	14,812,073
固定負債		
長期借入金	5,810,083	5,701,268
退職給付引当金	2,217,109	2,248,187
その他	889,963	907,861
固定負債合計	8,917,156	8,857,317
負債合計	23,113,854	23,669,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,249	3,040,249
利益剰余金	7,777,148	8,535,211
自己株式	46,805	47,051
株主資本合計	13,669,138	14,426,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,490	114,530
為替換算調整勘定	1,640,823	630,865
その他の包括利益累計額合計	1,532,332	516,335
少数株主持分	1,845,267	2,189,501
純資産合計	13,982,073	16,100,121
負債純資産合計	37,095,928	39,769,512

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,949,192	13,775,917
売上原価	5,285,757	9,315,964
売上総利益	2,663,435	4,459,953
販売費及び一般管理費	2,288,607	3,191,785
営業利益	374,827	1,268,167
営業外収益		
受取利息	2,889	4,379
受取配当金	10,959	17,392
持分法による投資利益	30,888	47,645
為替差益	-	92,910
その他	25,909	72,759
営業外収益合計	70,647	235,086
営業外費用		
支払利息	42,672	55,750
為替差損	30,950	-
売上割引	21,779	21,817
その他	12,563	20,282
営業外費用合計	107,966	97,850
経常利益	337,509	1,405,404
特別利益		
固定資産売却益	673	4,768
特別利益合計	673	4,768
特別損失		
固定資産除却損	1,795	234
固定資産売却損	173	459
投資有価証券評価損	1,053	886
減損損失	-	63,598
特別損失合計	3,022	65,178
税金等調整前四半期純利益	335,160	1,344,994
法人税等	133,455	329,582
少数株主損益調整前四半期純利益	201,705	1,015,412
少数株主利益又は少数株主損失()	2,178	81,370
四半期純利益	203,883	934,041

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	201,705	1,015,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,481	6,039
為替換算調整勘定	738,664	1,271,529
その他の包括利益合計	714,182	1,277,568
四半期包括利益	915,888	2,292,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	753,992	1,950,038
少数株主に係る四半期包括利益	161,895	342,942

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結決算日の変更に関する事項)

当連結会計年度より、当社及び国内の連結子会社は、決算日を3月31日から12月31日に変更し、同時に連結決算日を3月31日から12月31日に変更しております。この結果、当社及び全ての連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。この変更は、決算期を統一することにより適時・適切な会社情報の開示を徹底し、かつ、当社グループの予算編成や業績管理等、事業運営の効率化を図るためであります。この変更に伴い、当第1四半期連結累計期間については、国内の連結対象会社は平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3ヶ月間、海外の連結対象会社は平成25年1月1日から平成25年6月30日までの6ヶ月間を連結する変則的な決算となっております。

なお、海外の連結対象会社における平成25年1月1日から平成3月31日までの損益については、連結損益計算書を通して調整する方法を採用しており、同期間の売上高(個別財務諸表上の合計額、以下同じ。)は4,410,087千円、営業利益は262,156千円、経常利益は292,073千円、税引前四半期純利益は293,117千円であります。

(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

当社は平成25年4月26日開催の取締役会において、当社グループ事業のうち、ダイカスト用油剤及び熱間鍛造潤滑剤(以下、「当該製品」)の製造・販売に関する事業を株式会社MORESCO(以下、「MORESCO」)へ譲渡すること及び当社グループが当該製品の主要原料をMORESCOに対し継続的に生産、供給することを決議し、平成25年5月1日に事業譲渡契約及び製造受託に係る基本契約を締結いたしました。

1. 事業譲渡の概要

譲渡事業の内容	国内外のダイカスト用油剤及び熱間鍛造潤滑剤の製造・販売に関する事業
譲渡事業の経営成績	売上高 1,182,437千円(平成25年3月期)
譲渡資産の項目及び金額	機械装置及び運搬具 20,498千円 工具、器具及び備品 363千円 合計 20,861千円
事業譲渡期日	平成25年8月31日(予定)
譲渡価額	1,400,000千円

2. 製造受託の概要

製造受託の内容	当社グループはMORESCOよりダイカスト用油剤に関連する主要原料の製造を受託し、これを供給します。
有効期間	平成25年9月1日から平成33年8月31日まで

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
投資その他の資産	7,139千円	4,721千円

2 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	
	外貨額(千)	円換算額	外貨額(千)	円換算額
徳亜樹脂股フン有限公司	NT\$6,750	21,260千円	NT\$6,750	22,204千円

3 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形割引高	6,041千円	8,820千円
受取手形裏書譲渡高	8,779	28,212

4 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	265,031千円	220,537千円
支払手形	49,395	61,757

(四半期連結損益計算書関係)

減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

場所	用途	種類
台湾台北県板橋市	操業停止予定の工場等	建物及び構築物

当社グループは、減損会計の適用に当たって、報告セグメント(化学品、化粧品)を基礎としてグルーピングし、遊休資産については個々の資産ごとに、減損の兆候を判定しております。

当第1四半期連結累計期間において、操業の停止を決定した工場等に係る建物及び構築物について、当該資産の帳簿価額を回収可能価格まで減額し、当該減少額63,598千円を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、当該資産の回収可能価格は他への転用及び売却の可能性がないことから、その価値を零としております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却額を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	319,545千円	624,359千円
のれんの償却額	88	19,652

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	87,998	5	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	175,978	10	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	6,036,291	1,912,900	7,949,192	7,949,192
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,820	5,763	7,583	7,583
計	6,038,112	1,918,663	7,956,776	7,956,776
セグメント利益	145,881	529,127	675,009	675,009

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	675,009
セグメント間取引消去	4,063
のれんの償却額	1,852
全社費用(注)	306,096
四半期連結損益計算書の営業利益	374,827

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	11,634,099	2,141,818	13,775,917	13,775,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	599	648	648
計	11,634,148	2,142,417	13,776,566	13,776,566
セグメント利益	995,864	584,158	1,580,022	1,580,022

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,580,022
セグメント間取引消去	3,948
全社費用（注）	315,803
四半期連結損益計算書の営業利益	1,268,167

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「化学品」セグメントにおいて、操業の停止を決定した工場等に係る建物及び構築物等について遊休資産にグルーピングを行い、当該資産の帳簿価額を回収可能価格まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、63,598千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円58銭	53円8銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	203,883	934,041
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	203,883	934,041
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,600	17,597

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

日華化学株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 近藤 久晴 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日華化学株式会社の平成25年4月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日華化学株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

追加情報に記載されているとおり、会社は平成25年4月26日開催の取締役会において株式会社MORESCOへの事業の一部譲渡及び同社からの原料の製造受託を決議し、平成25年5月1日付で契約を締結している。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。